

国内空港初！

ターミナル巡回警備へ警備ロボットを導入します！

～東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けた警備強化を目指して～

成田国際空港株式会社は、2019年6月より、国内空港で初めてターミナル巡回警備の一部に自律走行型巡回監視ロボットを導入します。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催時には、現在よりも更に多くのお客様をお迎えすることが予想されることから、これに先立ち、館内警備の更なる強化を目的として、最新の自律走行性能を有したロボットを導入します。これまで警備員の目で実施していた巡回監視業務に、ロボットのカメラを通じた画像監視等が加わることで、人とロボットの力を融合させた、より高度で効率的な館内警備を実現していきます。

成田空港では、一層の警備強化に取り組むとともに、様々な分野でロボット等の最先端技術を活用し、お客様にとって「安全・安心・快適」な空港を目指してまいります。

導入概要

1. 機種：セコムロボット X2（エクス ツー）
2. 導入日：2019年6月3日（月）
3. 用途：巡回警備及び立哨警備の更なる高度化・効率化
4. 導入エリア及び台数：第1ターミナル（2台※）及び第2ターミナル（2台※）

※但し、6月～9月は各ターミナル1台ずつ



主な特徴

- ✓ 完全自律走行（自動巡回・障害物回避）
- ✓ 全方位カメラによる監視
- ✓ 画像解析による異常検知（放置物の有無など）
- ✓ 緊急時におけるロボットを介したお客様と監視室との通話
- ✓ 点検用のアーム（熱画像センサー実装）を搭載



点検用アームによるゴミ箱内の点検



空港内での走行実証実験の様子（2018年7月）

NAA 成田国際空港株式会社

〒282-8601 千葉県成田市成田国際空港内 NAA ビル

URL： <https://www.narita-airport.jp/jp/>

【別紙 1】

機能詳細

全方位カメラ

レーザーセンサー

ステレオカメラ

超音波センサー

バンパーセンサー

金属探知機

距離画像/熱画像センサー

アーム

ヘッドライト

炎検知センサー

サイズ	(W)840mm×(D)1120mm×(H)1225mm
重さ	約230kg
移動速度	最大時速10km（通常時は時速4kmに制限）
走行可能距離	約12km（3時間）
アーム	全長1200mm（最大）、先端に距離画像センサー、熱画像センサー、金属探知機を搭載
各種センシング	レーザーセンサー、ステレオカメラ、全方位カメラ、距離画像センサー、熱画像センサー、超音波センサー、バンパーセンサー、PSDセンサー、炎検知センサー、内部温度、バッテリー温度
威嚇機能	威嚇音声／威嚇ランプ
遠隔通話	マイク、スピーカー（管制員との音声通話）